横手市議会定例会
市長所信説明

令和7年9月

(令和7年8月15日 告示)

横手市

第2次横手市総合計画

みんなの力で 未来を拓く 人と地域が^{ひら} ^{かがや} 燦くまち よこて

後期基本計画 政策・施策

政策1 伸び伸び子育てできる環境と、みんなが健康に暮らせるまちづくりを進めます
【健康福祉】

【施策 1-1】 子育て支援の充実	【施策 1-4】 障がい者（児）福祉の充実
【施策 1-2】 健康な心と体づくりの推進	【施策 1-5】 低所得者福祉の充実
【施策 1-3】 健康でいきいきとした高齢社会の推進	【施策 1-6】 福祉を支える人材の確保と育成

政策2 学びの充実とスポーツ・芸術文化の振興により、生きる力と豊かな心を育みます
【教育文化】

【施策 2-1】 横手を愛する心と生きる力を育む学校教育の充実	【施策 2-3】 元気なまちを築く生涯スポーツの促進
【施策 2-2】 安全で安心して学べる教育環境の整備	【施策 2-4】 心を豊かにする生涯学習の推進
	【施策 2-5】 よこての伝統文化の継承と再発見

政策3 豊かな自然環境を守り、安心して暮らすことのできるまちづくりを進めます
【生活環境】

【施策 3-1】 安心して暮らすことのできるまちづくりの推進	【施策 3-3】 災害に強いまちづくりの推進
【施策 3-2】 美しい自然環境と快適な生活環境の保全	【施策 3-4】 循環型社会の一層の推進
	【施策 3-5】 地球温暖化対策の推進

政策4 魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
【産業振興】

【施策 4-1】 魅力ある農林業の振興	【施策 4-4】 観光・物産資源の発掘と発信
【施策 4-2】 活気ある商業の振興	【施策 4-5】 企業誘致の推進、企業留置と雇用対策
【施策 4-3】 活力ある工業の振興	

政策5 暮らしを支える都市基盤を強化し、便利で快適なまちづくりを進めます
【建設交通】

【施策 5-1】 雪国の快適な暮らしの実現	【施策 5-5】 安全で安定した水道水の供給と生活排水の適正処理
【施策 5-2】 快適な移動空間の実現	【施策 5-6】 市民がくつろげる公共空間の整備
【施策 5-3】 市民が利用しやすい公共交通の充実	
【施策 5-4】 地域拠点整備による市街地の活性化	

政策6 やさしさと笑顔があふれる市民が主役の地域づくりを進めます
【市民協働】

【施策 6-1】 市民の主体的な活動の支援と地域づくり活動の充実	【施策 6-3】 情報を共有する環境の整備
【施策 6-2】 男女が尊重し合う社会づくり	【施策 6-4】 市内外との交流連携の推進

政策7 横手を思い、市民の思いを実現させる創造的な行政経営を進めます
【行政経営】

【施策 7-1】 市民ニーズに対応した成果重視の行政運営の推進
【施策 7-2】 財源確保と効率的・効果的な財政運営の推進
【施策 7-3】 戦略的・計画的な人材育成と能力開発の充実

目 次

1. はじめに	1
2. 新たな施策等への取り組みについて	3
(1) 渇水対策について	3
(2) 横手の雪まつり「かまくら」の日程変更について	5
(3) 厚木市との友好都市締結40周年について	6
(4) 増田地域狙半内地区における集会施設の整備について	7
3. 令和7年度事業等の進捗状況について	7
(1) 2025大阪・関西万博「LOCAL JAPAN展」への出展について	7
(2) 市制施行20周年記念式典及び増田まんが美術館開館30周年記念式典について	9
(3) 市制施行20周年記念イベント「全力！よこて祭り」について	9
(4) 横手市生涯学習館A o - n a 開館1周年記念イベントについて ..	10
(5) 「横手市子どもの権利宣言」の見直しについて	11
(6) シン・十文字拠点基本構想について	13
(7) 横手駅周辺整備について	14
4. 補正予算について	14
5. おわりに	15
※行政一般報告編	16

令和7年9月横手市議会定例会の開会にあたり、市政運営に関する基本的な考えとして所信を述べさせていただくとともに、当面する市政の重要課題についてご説明申し上げ、市民の皆様並びに議員各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

1. はじめに

この度、横手南中学校の野球部及び陸上競技部、柔道部、バレーボール部が九州・沖縄地方で開催されている全国中学校体育大会へ出場する快挙を達成いたしました。スポーツ立市を掲げる本市において、大変喜ばしいことであり、これまでの日々の練習のみならず、猛暑のなかでの全県大会や東北大会を勝ち抜いた選手のがんばりと熱意をたたえるとともに、保護者の皆様や関係者の皆様のご尽力が無ければなし得なかったものと感じております。

さて、平成17年に1市5町2村が合併し、新市が誕生してから本年10月1日で20年を迎えます。合併までの過程には様々な経緯があり、合併後も豪雨や豪雪による被害に見舞われる年もあるなど、逆風下の際も怯むことなく、8地域が一つとなって歩んでまいりました。さらに近年では、新型コロナウイルスの流行による生活様式の変化やデジタル化の加速、原油高騰による物価高など、社会情勢は大きく変化しております。

また、この20年で横手市も大きく変わっており、一例をあげますとリニューアルオープンした増田まんが美術館や隣接する国の重要伝統的建造物群保存地区である増田の町並みなどに市内外から沢山の方々にお越しいただいております。加えて、横手駅東口再開発事業によって建設した横手市交流センターY²ぷらざや昨年オープンした横手市生涯学習館A^あo^お-^ーn^なaが拠点となり、横手駅前に新たな人の流れが生まれております。

さらに、当市の基幹産業である農業につきましては、園芸振興拠点センターを拠点とした「よこて農業創生大学事業」により農業者の所得向上と担い手の確保・育成を図ってまいりました。雪害や水害などの困難に見舞われながらも、日本一バランスの取れた複合農業産地を目指し取り組みを進めた結果、10年連続で県内1位の農業算出額となっております。

また、Y²ぷらざに整備したBizサポートよこてでは、起業・創業を目指す方や県外企業のサテライトオフィスとして活用いただいているほか、企業誘致により企業の立地が進み、この20年で所得の向上や就業場所の確保など強固な経済基盤の構築が進められ、若い世代の地元定着に寄与しているものと捉えております。

そのほかにも、高速道路等のインフラにつきましては、横手北スマートインターチェンジが整備されたことにより、利便性や生産

流通機能が向上し、当市のみならず近隣市町村にとっても大きな効果をもたらしております。

加えて、様々な分野でデジタル技術の活用を推進しており、多くの行政手続について、オンライン申請を可能にしたほか、農業分野では担い手の高齢化や生産性の向上の観点からスマート農業機材の導入支援を、福祉分野では子育ての負担軽減の観点から母子健康手帳アプリを用いた小児予防接種サービスを提供してまいりました。

今後も、どの地域に住んでいても必要な住民サービスを受けられる環境を整え、横手が魅力あふれるまちであり続けられるよう、引き続き全力で取り組んでまいります。

2. 新たな施策等への取り組みについて

(1) 渇水対策について

県内は、6月14日に平年より1日早く梅雨入りが発表された後、まとまった降雨が少ない状態のまま梅雨明けし、空梅雨となりました。少雨により雄物川水系における河川等の水位、流量が低下したことから、国土交通省湯沢河川国道事務所主催による雄物川水系渇水情報連絡会がこれまで5回開催され、雄物川水系の河川やダムの現状について情報共有を行っております。

市といたしましても、渇水傾向により上水道などの市民生活や

農作物の生育への影響が懸念されたことから、渇水状況や各部署での対応を協議すべく、7月31日に横手市渇水対策会議を設置いたしました。

上水道につきましては、まとまった降雨が無い場合に備え、7月31日から市民の皆様に対し、節水のご協力について市ホームページ等で呼び掛けいたしましたが、現時点で、大沢および大沢第二浄水場において、通常どおり取水、稼働できております。

一方、農業分野におきましても、県やJA秋田ふるさと、土地改良区、共済組合などと渇水に関する市内関係機関連絡会議を開催し、ダムやため池の貯水状況のほか、水稻や野菜、果樹などの農作物の生育状況を確認いたしました。特に水稻は、穂が出る時期に最も水が必要であり、この度の渇水が今後の生育に影響を及ぼすことを考慮し、市では水稻を作付けしている農業者及び農業法人等に対して揚水ポンプの購入や借り上げなど渇水対策に要した経費の一部補助を実施しております。引き続き農作物の生育状況を関係機関と共有しながら、今後の支援の必要性についても検討してまいります。

なお、8月上旬に一部でまとまった降雨があったものの、大松川ダムの貯水率は依然30%ほどであり、今後の天候次第では予断を許すことができない状況に変わりありません。今後、大松川ダムからの放流制限などが行われ、河川の水位がさらに低下した場合には、

上水道の取水量が減ることから、横手地域と大雄地域を対象に断水を防ぐために配水量を減らす「減圧給水」を行うことにご理解とご協力をお願いいたします。

洪水対策のみならず、このような渇水対策も考慮しこれまで成瀬ダムの建設について様々な機会を通じて要望活動を行ってまいりました。令和9年度に成瀬ダムが竣工した暁には、洪水対策や渇水対策に対応可能となることから、市民の皆様並びに農業者の皆様の安全・安心につながるものと捉えております。今後も、上水道の安定供給と農作物の品質及び収量確保のため関係機関と連携を密に取り組んでまいります。

(2)横手の雪まつり「かまくら」の日程変更について

横手の雪まつり「かまくら」は、毎年2月15日、16日に日付を固定して開催しておりましたが、この度、主催者である横手市観光協会では、令和8年から令和11年までの4年間、試行的に2月の第2金曜日、土曜日に変更する旨の方針を決定し、令和8年は2月13日、14日の開催となります。

これは、週末開催することによって集客効果を狙うとともに、市民の皆様をはじめ、こどもたちが参加しやすい持続可能なまつりにしていくという考えのもと、決定されたものであります。

市といたしましては、社会情勢に応じて、より良いかたちを求めた変革に挑戦する横手市観光協会の姿勢に対し敬意を表するとともに、横手の観光の象徴である「かまくら」の伝統行事としてのさらなる発展に向け、今後も横手市観光協会や関係団体と連携し、市民の皆様のご協力をいただきながら取り組んでまいります。

(3)厚木市との友好都市締結40周年について

神奈川県厚木市とは、主に産業面で交流があった経緯などから、旧横手市が昭和60年5月24日に友好都市の締結を行い、本年度40周年を迎えることとなります。これまで小学生交流会やスポーツ交流事業のほか、「横手の雪まつり」や「あつぎ鮎まつり」などのイベントを通じて相互の交流を深めるとともに、災害時の相互援助協定も締結しており、大規模な災害が発生した際には相互に応援できる体制を整えております。

11月15日から30日までの16日間、厚木市において「横手市増田まんが美術館出張展示」を開催する予定としているほか、「かまくら」にも厚木市民の皆様が訪れていただく予定と伺っております。厚木市の皆様とともにこれまでの友好の歴史を振り返りながら、引き続き、市民同士の交流に努め、また次の10年に結びつくよう、さらに交流を深めてまいります。

(4)増田地域狙半内地区における集会施設の整備について

増田地域狙半内地区南部におきましては、上畑温泉ゆ〜らく・さわらびの営業停止後の地域活性化策について、これまで地元自治会等と協議を続けてまいりました。協議のなかでは、地域コミュニティ活動の活性化機能に加え、一時的な避難所等の機能を有する集会施設の整備に関して要望をいただいております。

市といたしましては、コミュニティ機能はもちろんのこと、周辺で開催される自然散策や炭焼き体験などの生涯学習における研修会場として利用いただくほか、非常時に一時的に住民が避難できる場所としても活用できる施設を整備したいと考えております。

建設位置は上畑温泉ゆ〜らく跡地の周辺を予定しており、皆様に喜んで使っていただける施設となるよう、今後も地元自治会等とも協議しながら、令和9年度中の竣工を目指して準備を進めてまいります。

3. 令和7年度事業等の進捗状況について

(1)2025大阪・関西万博「LOCAL JAPAN展」への出展について

当市が出展した2025大阪・関西万博「LOCAL JAPAN展」は、7月28日から31日まで、EXPOメッセ

「^わW^っA^っS^せS^せE」を会場に開催されました。28日のオープニングセレモニーでは、伊東良孝^{いとうよしたか}国際博覧会担当大臣をはじめ、出席した他自治体の首長の皆様から、会場内でひととき目立つフルサイズのかまくらに、驚きと称賛の声を頂戴いたしました。そして、セレモニー終了後には伊東大臣に当市のブースを訪問いただき、かまくらに興味深くご覧いただくとともに、かまくらキャストを務める中学生や職員に激励の言葉を頂戴するという一幕もございました。

期間中は猛暑であったものの、見事にかまくらの姿を保ち、会場を訪れた多くの皆様に多大なインパクトを与え、横手市の存在と雪の魅力の世界に向けて発信することができたものと感じております。

また、期間中の運営にあたっては、市内中学生12名による「かまくらキャスト」が主役となり、当市のPRのために積極的に来場者とコミュニケーションをとり、一緒に写真を撮るなどお客様の心をつかみ人気を呼んでいる様子が見受けられました。また、期間中は市の公式Y o u T u b eによる生配信も行い、市民の皆様にも万博の臨場感を感じていただけたものと捉えております。

今回の「かまくら」出展に際し、ご協力いただきました皆様に対しまして、この場をお借りし心より御礼申し上げます。

万博でのPRを契機に、「かまくら」のさらなる集客効果を期待するとともに、地域への愛着を一層深める取り組みを、市民の皆様

や関係団体とともに推進してまいります。

(2)市制施行20周年記念式典及び増田まんが美術館開館30周年記念式典について

来る10月4日、横手市民会館において市制施行20周年記念式典と増田まんが美術館開館30周年記念式典を同時に挙行政たします。市政にご功勞のあった方々を表彰するほか、著名な漫画家による講演や市制施行20年を振り返る映像の上映を企画しております。

この節目を市民の皆様とお祝いするとともに、この先の10年、20年、100年に向かってさらなる市勢発展を誓い合う場にしたいと考えております。

(3)市制施行20周年記念イベント「全力！よこて祭り」について

9月6日、7日、横手駅周辺で開催となる「全力！よこて祭り」が間近となつてまいりました。市制施行20周年を記念する本祭りのサブタイトルを「でんとう と かくしん伝統×革新、つなぐ横手の未来、希望をカタチに」とし、市民オールキャストで創り上げる祭りをコンセプトに、実行委員会と市職員が手作りでイベント企画・準備を進めてまいりました。

祭りでは、YOSAKOI 演舞やストリートダンスパフォーマン

ス、のど自慢大会、ファッションショーなど、多彩なステージショーが繰り広げられるほか、イベントテーマソング「明日はきっといい日になる」の大合唱や地域に根ざす「伝統の祭り」の競演を予定しております。

また、会場の大型LEDビジョンでは、横手市出身の著名人からのビデオメッセージや、市民参加型のダンスミュージックビデオの上映を行います。

出演者、作品出展者、応援メッセージ、スタッフに至るまで、すべて市民と応援市民の皆様によるものであり、「地元横手の楽しさや魅力を、オール横手でカタチにしていこう」という未来へのメッセージが込められています。

そして何よりも、祭りには「来場し、楽しんでいただく方々」の存在が欠かせません。ぜひ、皆様お誘いあわせのうえ、9月6日、7日は会場へお越しいただき、「全力！よこて祭り」をお楽しみください。

(4)横手市生涯学習館Aona開館1周年記念イベントについて

横手市生涯学習館^{あおな}Aonaでは、本年9月に開館1周年記念イベントを開催いたします。特別展として、雄物川地域の^{えぞづか}蝦夷塚古墳群より出土し、現在、京都国立博物館で所蔵している^{まがたま}勾玉の里帰

り展示と、これに合わせ9月13日、青山学院大学文学部教授による出前講座を開催いたします。今回の出前講座は、大学連携事業として青山学院大学と考古学実習を開催してきたつながりにより実現したものであります。また、9月14日は、本市出身の壇蜜さんにお越しいただき、記念セレモニーや朗読会を行います。そのほかにも、9月15日には、令和5年度のY8サミット創快横手市議会において、十文字中学校から提案があったブックフェスを盛り込んだ中高生主体のイベント「A^あo^お-^ーn^なaフェス」も開催いたします。

引き続き、幅広い世代の多様な学びの場となるよう努めるとともに、イベントの開催などにより横手駅周辺への人の流れを生み出すような取り組みを進めてまいります。

(5)「横手市子どもの権利宣言」の見直しについて

当市の「横手市子どもの権利宣言」は、国際連合総会で採択された「児童の権利に関する条約」の精神にもとづいて、平成20年10月に策定されたものであり、こどもの権利を尊重するまちであることを宣言してから今年度で16年目を迎えます。

この間、こどもを取り巻く環境は大きく変化しており、令和5年4月には「こども基本法」が施行され、こどもの声や権利をこれまで以上に尊重し、こどもが健やかに育つことのできる「こどもまん

なか社会」の実現が、国の基本的な方針として掲げられました。

こうした社会的背景を踏まえ、今年度横手市こども計画の策定とあわせて取り組む、「横手市子どもの権利宣言」の見直しは、施策の方向性や理念の整合性を図るうえでも意義深いものと考えております。

去る6月から7月にかけては、市内の小学5年生から高校生、さらには若者世代を対象とし、子どもの権利宣言に関するアンケート調査を実施いたしました。加えて、こどもたち自らが「権利」について考え、自分たちの言葉で「権利」を表現する機会として、8月5日には、市内の中学生が参加するワークショップを開催しております。

また、大人の視点も反映するため、「オンライン意見箱」を開設し、横手市公式LINE等でお知らせしたところ、250件を超える多様なご意見をいただきました。

見直し後の新たな「横手市子どもの権利宣言」につきましては、来る10月5日に当市とこども家庭庁の共催により行われる「こどもまんなかアクションリレーシンポジウム in よこて」において公表を予定しております。本シンポジウムは、こどもを真ん中に据えた社会の実現に向けて、地域、関係機関、行政が連携し、こどもや子育て世代を社会全体で支えていく機運を高めることを目的に

開催するものであります。

当市といたしましては、こうした機会を通じて、こどもたちの成長する権利が守られる地域社会が実現し、さらには、こどもたちが次世代を担い、次世代を託す立場へと成長することに期待しております。

(6)シン・十文字拠点基本構想について

シン・十文字拠点基本構想につきましては、6月17日に第1回基本構想策定委員会を開催し、名称に込めた私の想いを伝えさせていただいたほか、委員の皆様からシン・十文字拠点の将来像について当該エリアを含めた十文字地域が持つ魅力など様々な角度からご意見をいただきました。

また、7月29日には地元の中高生を対象としたワークショップを開催し、“将来の十文字がこうだったらいいな”という姿について、中高生の皆さんが自分事として意見を出し合い、「自分たちのまちは自分たちでかたち作っていく」という真剣な姿を見ることができました。将来を担う若い世代のこのような姿に、非常に頼もしさを感じたところであります。

なお、策定委員会は全6回、ワークショップは全3回開催する予定としており、引き続き多くの市民の皆様のご意見を伺いながら、

シン・十文字拠点の基本構想を策定してまいります。

(7)横手駅周辺整備について

この度、横手駅周辺の中心市街地において、地域のまちづくりの新たな担い手となりうる団体として、横手まちづくり株式会社を都市再生推進法人として指定いたしました。駅周辺でのイベントの開催やクラフトビールの販売、複数の飲食テナントが入居する商業ビルの建設など横手駅周辺へのさらなる人の流れを生み出し、新たな雇用創出も担っていただけるものと期待をしております。

なお、横手駅東口第二地区市街地再開発事業につきましては、賃貸マンションと分譲マンションの基礎工事を施工しているほか、立体駐車場においては鉄骨組立工事に着手しており、令和9年1月の完成に向け、順調に工事が進んでいると伺っております。

また、市街地再開発事業とあわせて進めております都市再生整備事業につきましては、引き続き再開発周辺の歩道整備等を進めてまいります。

4. 補正予算について

今議会に提案しております一般会計補正予算についてご説明申し上げます。

今回の補正は、19億7,320万円の増額で、補正後の歳入歳出予算総額は、614億5,050万円であります。主な事業と事業費を申し上げますと、

◎ 過疎地域における保育機能確保・強化のためのモデル事業

502万円

◎ スマート農業・農業支援サービス事業導入総合サポート

緊急対策事業 1,759万円

◎ 中学校各種大会派遣事業 753万円

などであります。

5. おわりに

今議会に提案しております案件については、諮問案件8件、専決処分などの報告案件4件、令和6年度一般会計歳入歳出決算など決算認定10件、条例案件8件、契約関係、財産取得などその他案件8件、令和7年度一般会計補正予算案など補正議案2件の合計40件であります。

以上、よろしくご審議くださいますようお願い申し上げまして、所信説明といたします。

行政一般報告編

～ 6月議会定例会以降の行事等について ～

令和7年6月議会定例会以降の行政一般報告

目 次

(1)地区交流センターまつり.....	19
(2)「釣りキチ三平の里」体験学習館アドベンチャーキャンプ.....	19
(3)マンガが結ぶ夏の体験学習「エンジョイ！マンガロード」.....	19
(4)増田小学校の農業体験交流学習.....	20
(5)第44回あやめまつり.....	20
(6)第52回雄物川駅伝競走大会.....	20
(7)おもフェス2025.....	21
(8)第27回は・は・は祭.....	21
(9)第54回田楽灯ろうコンクール.....	21
(10)第42回関東地区大森町ふるさと会.....	22
(11)第40回首都圏十文字会総会.....	22
(12)夏のクリーンアップ(夏季道路一斉清掃).....	22
(13)2025大雄サマーフェスティバル.....	23
(14)ちびっこわくわくフェスティバル.....	23
(15)食農フェスタ2025.....	23
(16)第22回よこての全国線香花火大会.....	24
(17)横手の送り盆まつり.....	24
(18)横手北スマートIC利用台数200万台達成セレモニー.....	24
(19)八柏村表遺跡の発掘調査.....	25
(20)雄物川郷土資料館第2回特別展「ここまでわかった！！金沢城跡」.....	25
(21)青山学院大学考古学コース 考古学実習について.....	25
(22)YOKOTE モーターフェア.....	25
(23)令和7年度横手市二十歳のつどい.....	26
(24)デフバスケットボール男子日本代表強化合宿.....	26
(25)第18回横手わか杉カップ.....	26

令和7年6月議会定例会以降の行政一般報告

(26) 2025プロ野球イースタン・リーグ公式戦.....	27
--------------------------------	----

令和7年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
<p>まちづくり推進部 (増田地域局)</p>	<p>(1)地区交流センターまつり</p> <p>6月29日、増田地区多目的研修センターにて「増田地区交流センターまつり」が開催され、親子連れなど約500人の来場がありました。</p> <p>地区交流センターまつりは、昔の縁日の雰囲気地域の子ども達に味わってもらうために始めた事業です。射的や輪投げ、ヨーヨー釣りやスーパーボールすくいなどの縁日コーナーのほか、餅まきなどの催しもあり、多くのこどもやそのご家族が昔のお祭りの雰囲気を味わいました。</p>
<p>まちづくり推進部 (増田地域局)</p>	<p>(2)「釣りキチ三平の里」体験学習館アドベンチャーキャンプ</p> <p>7月31日、8月1日の日程で市内の小学4年生から6年生まで計28名が参加し、「アドベンチャーキャンプ」が行われました。このキャンプは、夏休みを利用して自然のなかでの体験活動と、他の学校の児童との交流などを目的として平成28年度から実施され、今年で8回目の開催となります。</p> <p>初日は秋田駒ヶ岳に登山し、山の植物などを観察したほか、夜は体験学習館でのキャンプファイヤーで、参加者同士の交流を深めました。2日目はイワナのつかみ取りなどを体験し、2日間を通じて自然の素晴らしさを感じてもらいました。参加したこども達にとっては夏休みの良い思い出になるとともに、初めて会う友達と協力しながら活動を行うなかで、仲間と協力する力やコミュニケーション能力の向上につながる体験となりました。</p>
<p>まちづくり推進部 (増田地域局)</p>	<p>(3)マンガが結ぶ夏の体験学習「エンジョイ！マンガロード」</p> <p>マンガを活かしたまちづくりを推進している宮城県石巻市や登米市との交流事業である「増田っ子塾 エンジョイ！マンガロード」が8月6日から7日の日程で開催されました。</p> <p>この交流事業は、平成13年度に旧増田町と宮城県石巻市、旧中田町の3市町で「みちのくマンガロード連絡協議会」を設立したことをきっかけに、平成16年度から冬は当市でスキーなどの雪国体験交流、夏は石巻市や登米市などで交流を行っているものです。</p> <p>今回、増田小学校から参加した児童は20名で、両市のまんが関連施設の見学、三滝堂ふれあい公園での登米市の児童らとの溪流川遊び体験など、見識を広めるとともに夏の思い出をつくりました。</p>

令和7年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (増田地域局)	<p>(4)増田小学校の農業体験交流学習</p> <p>こども達に食と農の大切さを学んでもらおうと、増田小学校5年生の児童32名が6月25日に稲の生育調査と田んぼの生物調査を行いました。</p> <p>この事業は、増田高等学校や地元女性団体の協力により5月の田植えに引き続き実施されたもので、「サキホコレ」の身長(草丈)・顔色(葉色)・体格(分けつ)の診断や、様々な生物が田んぼに生息していることをみんなで観察し確認しました。</p> <p>今後も稲刈り、食事会、販売を通じて農業への理解を深めていく予定としております。</p>
まちづくり推進部 (平鹿地域局)	<p>(5)第44回あやめまつり</p> <p>第44回浅舞公園あやめまつりが、6月21日から6月29日の9日間にわたり開催されました。天候の影響により開花が遅く心配をしておりましたが、期間中には彩り豊かな花々が咲きそろい、来場者は園内をゆったりと散策しておりました。</p> <p>今年は、市制施行20周年イベントとして、乗り物ものまね芸人「立川真司」によるショーや来場者にお菓子の振る舞いを行い、JR東日本横手駅のご協力によるミニ列車の乗車体験が実施されたほか、多くのイベントが行われ、約33,500人の来場者で賑わいました。</p> <p>また、平鹿中学校全校生徒による地域貢献活動の一環として各種イベントへのお手伝いをいただき、あやめまつり全体を盛り上げていただきました。</p> <p>この他、まつり開催前には、地元の各団体や、地域住民の方々による浅舞公園周辺道路のクリーンアップが実施され、環境美化を図るなど、地域との協働の取り組みも行われております。</p>
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	<p>(6)第52回雄物川駅伝競走大会</p> <p>6月29日、雄物川河川公園をメイン会場に、「第52回雄物川駅伝競走大会」を開催しました。地域、企業、仲間同士などで組まれた25チームと、オープン参加の横手明峰中学校と高校生チームを合わせた27チームが、5区間全長13.1kmのコースで襷をつなぎました。初出場の「TEAM 佐野 A」が46分05秒でゴールし優勝しました。</p>

令和7年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	<p>(7)おもフェス2025</p> <p>7月21日、雄物川中央公園を会場に「おもフェス2025 Jamaican Music Festival」が開催されました。</p> <p>地域の若者が実行委員となり、地域を元気にすることを目的に平成28年度から開催しているものです。</p> <p>東北でも珍しいスカ・レゲエに特化したイベントで、ゲスト6組のほか、雄物川小学校合唱部、横手明峰中学校吹奏楽部、雄物川高校吹奏楽部が出演し、大曲高校書道部やダンススタジオによるパフォーマンスを披露しました。さらに、市制施行20周年記念としてスペシャルゲスト「カラムシ&スーパーフレンズ」のステージや、こどもたちを対象としたアユのつかみ取りも行われ会場を盛り上げました。当日は約2,500人の来場者で賑わい、高校生・中学生ボランティアの協力により、盛会裏に終えることができました。</p>
まちづくり推進部 (雄物川地域局)	<p>(8)第27回は・は・は祭</p> <p>平成8年8月8日に、は・は・はの語呂合わせから始まり、笑顔の町雄物川の夏の風物詩として27回目を迎えた「は・は・は祭」が、8月8日、雄物川庁舎敷地内で開催されました。</p> <p>地元保育園のお遊戯や太鼓、雄物川高校吹奏楽部のオープニングに始まり、市制施行20周年記念特別ステージイベントとして、男鹿のなまはげ太鼓や中仙のドンパン娘が登場しました。会場では、雄物川小学校4年生が地域の農作物について調べた成果の展示を行い、また、横手明峰中学校の生徒がボランティアとして協力するなど地域のこどもたちも一体となり盛り上げ、約5,000人の人出で賑わいました。</p>
まちづくり推進部 (大森地域局)	<p>(9)第54回田楽灯ろうコンクール</p> <p>7月19日、「第54回田楽灯ろうコンクール」が、今年から大森地区交流センターへ会場を移して開催され、6年ぶりに行われたパレードではお囃子を先頭に、約40人のこどもたちが色鮮やかな灯ろうを手を夕暮れの町並みを照らしながら練り歩きました。</p> <p>コンクールには45点の応募があり、審査の結果、14作品を入賞作品として、7月22日から8月15日までの期間中、大森庁舎等に展示しました。</p> <p>多くの市民が作品を目にし、幻想的な夏の伝統行事を楽しみました。</p>

令和7年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
<p>まちづくり推進部 (大森地域局)</p>	<p>(10)第42回関東地区大森町ふるさと会</p> <p>8月2日、上野精養軒にて「第42回関東地区大森町ふるさと会総会並びに懇親会」が開催され、会員や来賓、関係者約80人が参加し、久しぶりの旧交を温めました。</p> <p>懇親会では、歌謡ショーやステージイベントなどのアトラクションで盛り上がったほか、会場内には地酒「大納川」や地元の野菜、加工品の販売ブースを設け、ふるさとの特産品を買い求める会員で大いに賑わいました。</p> <p>懇親会の結びは、唱歌「ふるさと」の大合唱で締めくくられ、次回の再会を誓い合いました。</p>
<p>まちづくり推進部 (十文字地域局)</p>	<p>(11)第40回首都圏十文字会総会</p> <p>6月28日、浅草ビューホテルを会場に、「第40回首都圏十文字会総会」が会員や来賓147名の参加のもと、盛大に開催され、創立40周年の節目として記念に残る会となりました。</p> <p>総会が滞りなく終了したのち、お祝いの鏡開きを合図に、懇親会が賑やかに始まりました。下町かぶき組の公演や統合前の4つの小学校出身者毎のグループで、それぞれの校歌を斉唱する企画もあり、懐かしさを胸に、笑い語り合い、楽しい時間が流れていました。</p> <p>また、記念品として「十文字和紙のカードケース」と「首都圏十文字会40周年記念誌～不惑の道標～」も配られ、ふるさとに思いを馳せる機会にもなりました。</p> <p>今後も引き続き、首都圏十文字会の皆様とつながりながら、ふるさとの情報発信と会員相互の親睦交流に努めてまいります。</p>
<p>まちづくり推進部 (山内地域局)</p>	<p>(12)夏のクリーンアップ(夏季道路一斉清掃)</p> <p>環境美化に対する意識の高揚を図るため、8月3日に、地域内の国道や県道、幹線道路沿線及び河川において、地域住民総出による「夏のクリーンアップ」を実施しました。</p> <p>当日は、813人の市民の皆様に参加いただき、燃やすごみ200kg、燃やさないごみ50kgが集められました。</p> <p>今後も地域の環境をより良くするための活動を継続してまいります。</p>

令和7年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
まちづくり推進部 (大雄地域局)	<p>(13)2025大雄サマーフェスティバル</p> <p>7月26日、今年で38回目となる「大雄サマーフェスティバル」を、楽天イーグルススタジアム大雄駐車場内を会場に開催いたしました。</p> <p>このイベントは、大雄地域内の団体で組織される実行委員会が企画・運営しているものです。今年は市制施行20周年を記念した限定500枚の「記念うちわ」を配布したほか、横手明峰中学校吹奏楽部の演奏や、大雄小学校児童が合唱を披露しました。また、たいゆう保育園児の太鼓演奏や、こどもたちに人気の「カブトムシ木登りレース」のほか、ビアガーデンや屋台の出店で賑わいました。</p> <p>ステージでは湯沢市出身の「神崎りく」と演歌界のホープ「真田ナオキ」さんが歌声を披露し、来場者を魅了しました。フィナーレは、会場のそばから迫力満点の花火を打ち上げ、フェスティバルを締めくくりました。</p>
市民福祉部 (子育て支援課)	<p>(14)ちびっこわくわくフェスティバル</p> <p>7月5日に浅舞地区交流センターを会場に、今年度再編された東部、西部、南部の子育て支援センターが主体となり、「令和7年度ちびっこわくわくフェスティバル」を開催しました。</p> <p>未就学児親子が交流をしながら楽しみ、親同士のつながる機会の提供と地域の子育て支援の活性化を目的としたイベントです。</p> <p>保育・子育て支援に関わる関係機関や子育てサークル等の計11団体が、9つの遊びのブースやステージ発表を提供し、当日は200人を超える来場者で賑わいました。</p> <p>今後も、子育ての楽しさやつながりを感じていただける機会の提供に取り組んでまいります。</p>
農林部 (食農推進課)	<p>(15)食農フェスタ2025</p> <p>8月7日、横手市園芸振興拠点センターを会場に、テーマを「市制施行20周年の感謝を、野菜のチカラで届けたい！」として「食農フェスタ2025」を開催しました。</p> <p>食農フェスタは、園芸振興拠点センターのPRと、市民の皆様に横手産野菜の魅力を発信することを目的としており、採れたて野菜の即売会、スイカやメロン、トウモロコシなど夏野菜の試食会、施設内をクイズで探索するセンタークエスト、スイカをゲットできる重さ当てクイズ、ネギの皮むき体験、トマトの冷製パスタランチの提供のほか、ホップワーカーの乗車体験も行い、イベントのフィナーレに20周年を記念した紅白もちまきを行いました。当日は、こどもから大人まで約700人の皆様にご来場いただき、横手の旬の野菜や園芸振興拠点センターの魅力を体感していただきました。</p>

令和7年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
商工観光部 (観光おもてなし課)	<p>(16)第22回よこての全国線香花火大会</p> <p>7月19日、22回目となる「よこての全国線香花火大会」が実行委員会主催により開催されました。横手川蛇の崎川原を会場に、国産花火を楽しみながら、故郷を思う気持ちを育み、日本の貴重な文化を体験してもらおうという催しです。</p> <p>日中からの猛暑でしたが、浴衣姿の小中高生や親子連れを中心に、約7,800人の方々が会場を訪れ、線香花火の持続時間を競う大会や、大会提供の迫力あるおもちゃ花火の打ち上げなどを楽しみ、賑わう横手の夏の思い出を胸に刻んだ様子が見受けられました。</p> <p>当日は、高校生をはじめとした150人を超えるボランティアがスタッフとともに汗を流してくれました。また、茨城県那珂市からは観光PRブースを出展いただき、イベントの盛り上げにご協力をいただきました。</p>
商工観光部 (観光おもてなし課)	<p>(17)横手の送り盆まつり</p> <p>横手地域の夏を彩る伝統行事「送り盆まつり」が、8月6日の「ねむり流し」を皮切りに行われ、ねむり流しには21団体が参加し、こどもたちの願いを書いた短冊を飾った小舟が蛇の崎河原に繰り出しました。今後も伝統をつなぎ、多くの来場者の皆様に喜んでいただけるよう、横手市観光協会や関係団体等と連携し取り組んでまいります。</p>
建設部 (建設課)	<p>(18)横手北スマートIC利用台数200万台達成セレモニー</p> <p>8月8日、横手北スマートICの利用台数200万台達成セレモニーが、同IC利用者駐車場において開催されました。</p> <p>当日、横手北スマートICを利用された方の中から1家族にセレモニーへご参加いただき、横手市とNEXCO東日本から記念品が贈呈されました。</p> <p>横手北スマートICは現在、1日に約1千台の車が利用しており、令和元年8月4日の開通から約6年での200万台達成となります。</p> <p>横手北スマートIC地区協議会では、今後も通勤・レジャーの利便性や生産流通機能の向上のほか、救急搬送時の時間短縮など当市や近隣市町村にとって大きな役割を果たす同ICについて、地域に広く周知を行い、さらなる利用促進を図ってまいります。</p>

令和7年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
教育総務部 (伝統文化課)	<p>(19)八柏村表遺跡の発掘調査</p> <p>県営ほ場整備事業(下吉田地区)に伴う八柏村表遺跡の面積約5,800㎡の発掘調査を5月1日から7月31日まで実施しました。</p> <p>調査の結果、遺跡は主に平安時代の集落跡で、東西に延びる道路跡とその南北に建物跡が並んでいることが確認されました。</p> <p>7月7日には、ほ場整備施行業者主催の吉田小学校5、6年生の総合学習が開催され、このうち6年生28名が発掘体験を行いました。曇り空の発掘しやすい環境で、児童達は発掘調査で土器を見つけるたびに歓声をあげていました。</p>
教育総務部 (伝統文化課)	<p>(20)雄物川郷土資料館第2回特別展「ここまでわかった!!金沢城跡」</p> <p>雄物川郷土資料館では、5月24日から7月27日まで第2回特別展「ここまでわかった!!金沢城跡」を開催しました。発掘調査で出土した中国産陶磁器や国産陶磁器及び木製品等を展示、解説したもので、期間中253人の入場者がありました。</p> <p>7月12日には、平泉世界遺産ガイドンスセンター長 八重樫忠郎氏のギャラリートークと講話を開催し、16名が参加しました。</p>
教育総務部 (伝統文化課)	<p>(21)青山学院大学考古学コース 考古学実習について</p> <p>青山学院大学文学部史学科考古学コースの学生及び大学院生が、雄物川地域の造山遺跡及び造山館跡において単位取得のための考古学実習を行いました。</p> <p>実習は8月4日から8日までの5日間で、教員3名と大学生・大学院生27名が発掘現場において実習を行いました。酷暑の中ではありますが、学生達は調査技術の習得に励み、地域の歴史の一端を明らかにしてくれました。</p>
教育総務部 (生涯学習課)	<p>(22)YOKOTE モーターフェア</p> <p>6月28日、29日の2日間、横手市生涯学習館Ao-naを会場に、秋田トヨタ自動車株式会社との共催で「YOKOTE モーターフェア」を開催しました。</p> <p>市内の自動車関連産業の高度な技術に関心を持ってもらうとともに、こどもたちにもものづくりの楽しさを知ってもらうため実施したもので、館内には、市内7社が製造している部品やトヨタ自動車のスポーツカー「86」と「ヤリス」を展示したほか、ミニ四駆づくり体験では、こどもたちが真剣な表情でパーツの組み立てを行いました。</p> <p>また屋外では、「センチュリー」や「スープラ」などの高級車への試乗体験もあり、2日間で8,268人が来場し、大いに賑わいました。</p>

令和7年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概 要 等
教育総務部 (生涯学習課)	<p>(23)令和7年度横手市二十歳のつどい</p> <p>8月15日、横手市民会館を会場に、横手市二十歳のつどいを開催しました。</p> <p>今回の対象者は、平成16年4月2日から平成17年4月1日までに生まれた市内在住者及び令和元年度市内中学校卒業生の809名で、そのうち596名からの申し込みがありました。</p> <p>当日に向けて対象者を代表し15名が実行委員となり、それぞれの役割を分担しながら、アトラクションの企画立案など自分たちで準備を進めてきました。</p> <p>なお、当日配布するしおりも、対象者の代表がデザインし、新しい門出を仲間とともに祝う華やかなものとなりました。</p>
教育総務部 (スポーツ振興課)	<p>(24)デフバスケットボール男子日本代表強化合宿</p> <p>6月7日と8日の2日間、デフバスケットボール男子日本代表チームが、「第25回夏季デフリンピック競技大会 東京2025」に向けた強化合宿を横手体育館で行いました。</p> <p>デフリンピックは、聴覚障がい者のための国際的なスポーツ大会で、デフバスケットボールの日本代表チームには、横手市出身の石川友正さんがチームリーダーとして選出されています。</p> <p>地元のクラブチームや高校生との強化試合のほか、デフバスケットボールの体験会が開催され、参加した小学生らと競技への理解を深めました。</p> <p>デフリンピックは、11月15日から26日にかけて東京・福島・静岡を会場に開催され、バスケットボールは大田区総合体育館を会場に行われる予定です。</p>
教育総務部 (スポーツ振興課)	<p>(25)第18回横手わか杉カップ</p> <p>7月11日から13日までの3日間、全国ブロック選抜高校男子バレーボール大会「横手わか杉カップ」が雄物川体育館で開催されました。今年で18回目となる本大会は、全国高校総体(インターハイ)の前哨戦として注目され、北は北海道、南は広島県から全国の高校男子バレーボール界を牽引する強豪校8校が参加しました。</p> <p>各チームのハイレベルで迫力のあるプレーが会場を盛り上げ、多くの市民の皆様やバレーボールファンを楽しませました。</p> <p>【結果】</p> <p>第1位 尼崎市立尼崎高等学校(兵庫県)</p> <p>第2位 秋田県立雄物川高等学校(秋田県)</p> <p>第3位 山形県立山形中央高等学校(山形県)</p>

令和7年6月議会定例会以降の行政一般報告

担当部局	概要等
教育総務部 (スポーツ振興課)	(26)2025プロ野球イースタン・リーグ公式戦 7月26日、横手市では3年ぶりとなるプロ野球イースタン・リーグ公式戦「東北楽天ゴールデンイーグルス 対 東京ヤクルトスワローズ」がグリーンスタジアムよこてで開催されました。 会場には、試合を待ち望んだ2,077人の野球ファンが訪れ、フルカラーLEDビジョンにリニューアルされたスコアボードの演出とともに、生のプロ野球の観戦を楽しみました。